

火花散らし溶接の腕競う

函館 全国大会に技術者112人



火花を散らして金属を溶接する出場者たち

溶接技術日本一を争う

「第62回全国溶接技術競技会北海道地区函館大会」が9日、函館市日吉町3のポリテクセンター函館で開かれた。都道府県の代表112人が出場。造船所や自動車メーカーなどで働く技術者たちが腕を競った。

日本溶接協会などの主催で函館開催は初めて。大会では溶接部分の仕上がりや強度などが審査される。出場者たちは、専用マスクで顔や目を保護しながら、電気による高熱で金属を溶かし、2枚の板を接合。火花を散らしながら慎重に作業を進めた。

道南からは、函館溶接協会の推薦を受けた函館どつ

くの船尾晟矢さん(24)―七飯町―と、道南産機工事の田中直樹さん(28)―北斗市―が出場した。

成績はエックス線検査も交えた審査を経て、12月中旬に発表される。(星野真)

森町長選あす告示

無投票の公算大

【森】任期満了に伴う森町長選は11日告示される。これまでに立候補を表明したのは再選を目指す現職の梶谷恵造氏(60)―無所属―のみで、無投票の公算が大きくなっている。

立候補締め切りは同日午後5時。梶谷氏は午前9時に町内御幸町の事務所出